

平成30年度学校評価における自己評価

真岡高校定時制

○ 本年度の重点目標の達成に向けた取組状況や達成状況

本年度の重点目標

- ① 一人一人の生徒の主体的な行動力を高め、「自尊心」「自負心」を育てる。
- ② 様々な教育活動を通じて真の「教養」を身につけさせ、生きる力を育てる。

努力点

- ア 生徒の確実な成長を促す指導・援助の具体的実践。
- イ 教科指導力を高めて、生徒の基礎学力の向上と進路希望の実現を図る。
- ウ 集団内における役割と責任の遂行、その承認を通じて自己有用感の高揚を図る。
- エ 部活動及びホームルーム活動・生徒会活動・学校行事等の特別活動を積極的に奨励推進する。

評 価

①について

- ・ホームルームや委員会活動、部活動等への積極的な参加を促すとともに、学校行事の後にクラスで振り返りの時間を設け、発表したり級友の意見を聞いたりして自分の考えを深めさせることにより、自尊心や自負心の育成につなげた。
- ・月例の教育相談情報交換会や生徒アンケート、年5回の個人面談等により、全教員が生徒の心のケアに努めており、「悩みや相談に親身になって応じてくれている」と回答した生徒の割合は約85%に上る。

②について

- ・約8割の生徒が「学校行事が充実している」と回答している。日常の授業をはじめ、各種講話、体験型学習、ボランティア活動などの様々な教育活動を通じて、生徒の自主性、思考力、判断力等を育成している。

アについて

- ・「わかる授業」「きめ細かな生徒指導」「達成感のある行事」「健康なからだ作り」「地域との連携」「進路指導の充実」等により、多面的に生徒の成長を促している。

イについて

- ・約7割の生徒が「分かりやすい授業」と評価している。今後も教材研究を進め、生徒の興味関心を喚起しながら、基礎学力の向上を図りたい。
- ・今年度も就職希望者の内定率について、早期100%を達成した。今後も進路に関する情報提供に努め、生徒保護者の期待に応える進路指導を充実したい。

ウについて

- ・全校集会の場で生徒が発表や説明をしたり、学校行事後の振り返りで意見交換をしたりする活動を行うことで、生徒が主体的に動く経験をさせることができた。約9割の生徒が「入学してよかった」と回答しており、各教員は生徒一人ひとりの良さを認める指導を心がけている。

エについて

- ・部活動での全国大会出場等の成果を挙げるとともに、生徒会を中心とした学校行事等においては、学年を超えた交流を行い体験を共有させることができた。